

平成 22 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ベ リ サ ー ブ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 浅 井 清 孝
(コード番号: 3724 東証一部)
問 い 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 高 橋 豊
(電話番号: 03-5909-5700)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 4 月 28 日開催の取締役会において、平成 23 年 3 月期を初年度とする今後 3 年間の中期経営計画〈平成 23 年 3 月期(第 10 期)～平成 25 年 3 月期(第 12 期)〉を策定し、決議いたしましたのでお知らせいたします。

当社では、経営環境の変化へ迅速に対応するため、中期経営計画の期間を 3 年とし、一年毎に更新を行うローリング方式を採用しております。昨年度は、急激な経営環境の変化のため一時見直しを中断したもので、今回、最近の経営環境の変化を踏まえ、見直しを行ったものであります。

記

1. 中期経営計画策定の背景

昨年見送りました「中期経営計画」(以下「中期計画」)を新たに策定し、年度のローリングを行う共に、昨今の経営環境を鑑み全体の見直しを行いました。

2. 中期計画の概要

一昨年に端を発した世界的経済危機は、世界経済に大きい影響を与えました。昨今、景気回復の兆しも見えはじめておりますが、当社を取り巻く環境は、依然不透明な状況が当面継続するものと予想されます。

このような状況を背景に、ソフトウェアの検証業務の重要性は、引き続き変わっていないと考えております。当社では、向こう 3 年を「事業基盤の再構築」の時期と位置づけ、「グローバル化する製造業への対応」、「検証サービスの効率化」、「新規ビジネスの開拓」をテーマとして、中期計画を策定しております。

「グローバル化する製造業への対応」といたしましては、国内を中心としたサービスから海外、特に今後の需要が見込まれる新興国における事業展開を行う基盤づくりを想定しております。また、

「検証サービスの効率化」としては、人だけに依存しない検証サービスの仕組みづくりの構築により、お客様の製品開発における品質を確保しながら、開発にかかるトータルのコストを削減していくフルライン検証サービス等を推進いたします。一方、製品単体だけの機能だけでなく、ネットワークなどを介した複合的にサービスを提供されるようになっております。「新規ビジネスの開拓」としては、システム検証ビジネスの将来的な拡大が見込まれる分野でのサービス体系の整備を行っていく考えです。

このような取り組みを行っていくことで、従来の検証ビジネスを進化させながら基盤を整備するための準備段階と位置づけ、先行投資を含め事業を展開してまいります。

3. 中期計画の業績目標

中期計画の目標は下記の通りです。

単位:百万円	平成 22 年3月期 (第 9 期)実績	平成 23 年3月期 (第 10 期)	平成 24 年3月期 (第 11 期)	平成 25 年3月期 (第 12 期)
売上高	5,159	5,200	6,300	7,500
営業利益	196	220	440	560
経常利益	218	230	450	570
当期純利益	97	120	230	300

※ 上記、中期計画の業績目標には、昨年12月に公表しております中国上海に設立予定(第10期 第1四半期)の子会社を含んでおりません。事業立上げを行う段階であり、重要性は軽微と判断しており、現時点で連結対象としておりません。なお、今後業績に重要な影響が見込まれる場合には、あらためて開示いたします。

以 上

* 本資料における将来の予測に関する記載事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。